

1日 土曜

出エジプト

12:1 主は、エジプトの国でモーセとアロンに仰せられた。
12:2 「この月をあなたがたの月の始まりとし、これをあなたがたの年の最初の月とせよ。
12:3 イスラエルの全会衆に告げて言え。この月の十日に、おのおのその父祖の家ごとに、羊一頭を、すなわち、家族ごとに羊一頭を用意しなさい。
12:4 もし家族が羊一頭の分より少ないなら、その人はその家のすぐ隣の人と、人数に応じて一頭を取り、めいめいが食べる分量に応じて、その羊を分けなければならない。
12:5 あなたがたの羊は傷のない一歳の雄でなければならない。それを子羊かやぎのうちから取らなければならない。
12:6 あなたがたはこの月の十四日までそれをよく見守る。そしてイスラエルの民の全集会は集まって、夕暮れにそれをほふり、
12:7 その血を取り、羊を食べる家々の二本の門柱と、かもいに、それをつける。
12:8 その夜、その肉を食べる。すなわち、それを火に焼いて、種を入れないパンと苦菜を添えて食べなければならない。
12:9 それを、生のままで、または、水で煮て食べてはならない。その頭も足も内臓も火で焼かなければならない。
12:10 それを朝まで残してはならない。朝まで残ったものは、火で焼かなければならない。
12:11 あなたがたは、このようにしてそれを食べなければならない。腰の帯を引き締め、足に、くつをはき、手に杖を持ち、急いで食べなさい。これは主への過越のいけにえである。



12:12 その夜、わたしはエジプトの地を巡り、人をはじめ、家畜に至るまで、エジプトの地のすべての初子を打ち、また、エジプトのすべての神々にさばきを下そう。わたしは主である。

12:13 あなたがたのいる家々の血は、あなたがたのためにしるしとなる。わたしはその血を見て、あなたがたの所を通り越そう。わたしがエジプトの地を打つとき、あなたがたには滅びのわざわいは起こらない。

神様はその権威によって、まだ事が起こる前からイスラエルの民に、記念とすることを命じておられます。神様の全能がここにも表されています。これは過ぎ越しと呼ばれる出来事で、信じて羊の血に頼る者は、滅びを過ぎ越すことができるということです。それはまさにイエス様の十字架の赦しと救いを表しています。

このように旧約において十字架の雛形が明らかにされているのは、十字架の意味が明らかになるためです。十字架とはアクシデントではないのです。神様のご計画の確かな成就であるということです。

そしてそのことを月の始まりとして、生きる原点にするように命じておられます。私たちも十字架を原点として生きましょう。

苦菜はエジプトでの苦難を忘れないため、急いで食べるのは、救いの緊急性を表します。私たちも苦しいところから、または恐ろしい滅びから救われたのだということと思いましょう。また救いの時には、今しかなかったという神様のタイミングであったことを覚えましょう。そして感謝して一生涯忘れないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

